

かとう ほんか
加藤 晴香さん（広島市東区出身）
2018年度2次隊 青年海外協力隊
派遣国：ベトナム 職種：障害児・者支援
2020年11月15日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

異文化理解 大切さ実感

急成長するベトナムのホーチミン市へ青年海外協力隊として赴任し、1年半を過ごしました。ホーチミン市障害児リハビリテーションセンターに配属となり、作業療法士として発達障害児に関わった経験を生かし、障害児との関わり方、日常生活動作の指導方法などを現地の先生に教えました。

当初は灼熱しやくねつの天候、バイクの騒音、排ガスの中、外を歩くこともままならない状況でした。また、何度言い直しても伝わらないベトナム語に、大きな言葉の

壁を感じました。そして、相手の気持ちをくんだ意見の伝え方が分からず同僚ともめてしまう事もあり、赴任半年後にはすっかり自信も元気もなくしていました。

しかし、ベトナム人の朗らかで前向きな性格に助けられ、粘り強く取り組むことで徐々に輪に入れるようになりました。同僚の家に招かれ一緒にご飯を食べ、アオザイを作って旧暦を祝い踊りました。独特の文化に慣れ、相手に合わせた意見の言い方ができるようになり、「今からようやく活動していける」と確信した頃でした。新型コロナウイルスの影響で今年3月、残念ながら任期を半年残し帰国が決まりました。

派遣期間に異文化の中で生活する大変さ、異文化を知る大切さを実感しました。今、私は日本にいますので、在日ベトナム人に日本を知ってほしいと思っています。また、日本人にも異文化交流を通して相手を思いやる体験をしてほしい。その橋渡しができればいいと考えています。



ホーチミン市障害児リハビリテーションセンター前に立つスタッフ